

○来むとは待たじ

作詞:大伴坂上郎女 作曲:上野紘史 編曲:上野紘史 演奏:
はるひのwithDODOWAKA

・「来(こ)むと言ふも 来(こ)ぬ時あるを 来(こ)じと言
ふを 来(こ)むとは待たじ 来(こ)じと言ふものを」

(大伴坂上郎女=おおとものさかのうえのいらつめ)

▷万葉集 卷4-527

(こむといふも こぬときあるを こじといふを こむとは
またじ こじといふものを)

意味:来ようと言っても来ないのだから、来ないつも
りだというのを、来るだろうかと待つことは致しませ
ん。来ないつもりだと言ってるのですから。

解説:「こ」という音がフレーズの頭に必ず来ている
それを楽しむ「戯れ歌」として読まれたとされてい
ます。が、歌の中に虚実を織り交ぜたセンスが光り
ます。頭韻(とういん)=句の頭の音が「こ」脚韻(きゃ
くいん)=句の終わりの音が「オ段音」(第四句を除い
て) この韻とリズムを楽しむ早口言葉のような和歌。